

「グローバル社会に対応する女性研究者支援」プロジェクト
<http://www.erp.sophia.ac.jp/Projects/wrsupport/>

NEWSLETTER

目次：

女性研究者支援について 思うこと	P1
イベントお知らせ ーキャリアコロ2ー	P1
学内施設情報 ー託児所ポピンズー	P1
コモンスペースを利用し てみませんか？	P2
miniコラム：上智大学に は昔からコモンスペース があった？	P2

女性研究者支援について思うこと

学生総務担当副学長 小林 順治



今年度から、上智大学「グローバル社会に対応する女性研究者支援」プロジェクトの実施責任者を務めさせていただくことになりました。これまでは、女性研究者を支援するプロジェクト等に、まったく関わりをもつことがありませんでしたが、これからは本プロジェクトに関係する皆さんと協力して、実効ある成果を上げるために努力したいと思っております。

そこで、現時点において女性研究者支援に関してまだ理解不十分ですが、このプロジェクトについて思うことを述べてみたいと思います。私個人としては、誤解を恐れずに言うところ、女性研究者支援プロジェクトにはある種の違和感を覚えます。その理由は研究者としての能力は性別にまったく関係のない問題だと思ってきたからです。また、研究者としての能力を発揮する場が与えられるか否かは、男女の別と何の関係もないことは自明の理だと考えています。

しかし、2006年度より文部科学省によって女性研究者支援プロジェクトが実施されているという事実は、女性であるが故に支援を必要とするという現状が存在し、対策を必要としているということの意味します。そして、その事実はわれわれの社会構造そのものに問題があることを浮き彫りにしています。

したがって、私たちは本プロジェクトにより、上智大学の女性研究者を具体的に支援することを通じて、女性研究者支援を必要としない社会の実現を目指しているのではないのでしょうか。

EVENT お知らせ

第2回 女子学生キャリアアップ支援コロキウム開催

昨年度第1回に引き続き、下記の通り開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2010年6月8日（火）、15:30～17:00
 場所：中央図書館 L-821
 対象：女子学生

講演者：高木 朋子氏

（株）IHI 産業・環境システムセクター 薄膜・表面処理プロジェクト部

タイトル：企業で働く女性エンジニア～働く側の現状と企業の取り組み～



キャリアコロとは...

上智大学理工学部卒業生を招き、女性研究者の現状やどのようにキャリアパスを構築していったのか等をより身近に感じてもらい、女子学生が講演者と積極的に意見交換ができる場を目指しています。

学内施設情報

学内託児所（ポピンズ）を知っていますか？

上智大学では育児を行いながら勉学を続ける本学学生や、本学教職員の就業を支援するために、事業所内保育所「ポピンズ託児室」（2号館地下1階）を2008年10月より開設しています。授業及び授業に準じた時間の利用、勤務時間内利用については料金の補助があります。

生後57日目から就学前の子供がいらっしゃる方は、ぜひ活用してください。

利用の際は、事前に登録等の所定手続きが必要となりますので、学生は学生センター（託児室担当：03-3238-3523）へ、教職員は人事サービスグループ（03-3238-3191）にお問い合わせください。

*利用についての詳細はHPをご覧ください。
<http://www.sophia.ac.jp/jpn/studentlife/support/takujishitsu>

2009年度ポピンズ利用実績

登録者：大学院生3名
 教職員6名
 利用件数：延べ20件
 稼働日数：71日

コモンスペースを利用してみませんか？

コモンスペースは、本学の女性研究者及び女子学生がコミュニティを形成するために設置されました。2009年度10月に理工学部学部4年生以上の女子学生を対象にアンケート調査を実施し、その結果を反映させ、更衣・休憩・授乳搾乳・仮眠等ができるようになりました。内容は下記の通りです。

更衣

時間：9:00～17:00（11:30-12:30は閉室）
対象者：理工系4年生以上の女子学生

時間：9:00～17:00（11:30-12:30は閉室）

*男性の育児に関する利用については、個別にご相談ください。

休憩

授乳・搾乳

仮眠

時間：9:00～17:00（仮眠は2時間まで）
対象者：①徹夜で実験を行った理工系の4年生以上の女子学生・女性研究者
②全学の妊娠中・育児中の女性教職員

●仮眠をとる場合の注意事項●

・コモンスペース利用申込書を入室時に記入していただく必要があります。また、利用したい日時を予約することができます。

・コモンスペースと保健センターの使用状況に応じて、保健センターでも仮眠をとることができます。

プチSocial Cafe

時間：11:30～14:00 ●お弁当持ち込み、入退室自由●

お茶を飲みながら、先生を交えて学生生活・研究・将来のことなど、いろいろおしゃべりしましょう。

miniコラム

上智大学には昔からコモンスペースがあった？

上智大学に初めて女子学生が入学したころ、すぐに女子学生専用の部屋ができたそうです。戦後、日本で唯一の男子大学であった本校が、1957年に3、4年の専門課程に女子学生の編入が認められました。その翌年（1958年）には、教養課程に女子学生の入学が認められ、新入生836名のうち女子学生64名（7.7%）が入学しました。

大学は女子学生たちが快適な環境で勉学に励むことができるように気を配り、カマボコハウス^{※1}の一部に女性専用の休憩・相談室を設置しました。そこには、いつもお茶やお菓子が用意されており、休憩や先生に相談ができました。1962年には女子学生相談室は大島館に移され、その後、上智会

館、ホフマン・ホールへと場所を移しながら、1997年まで続けられました。

この女子学生相談室はなんだか少しコモンスペースに似ていると思いませんか？昨年度の理工学部女子学生は18%（大学院生を含む）となり、当時の女子学生よりも多いですが、まだまだ少数派。このような女子学生のためのコモンスペースはもしかしたら、上智大学の伝統の中から生まれたのかもかもしれませんね。

参考文献：『上智大学五十年史』、『女子学生と上智大学』『ソフィア』第220号 Vol. 55 (2006年冬季号) pp. 4-48. 上智大学出版

アンケート結果

- 1位 仮眠室
- 2位 休憩所
- 3位 更衣室
- 4位 コミュニティ室

プチ Social Cafe 予定表

2010年6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

*男性教員・研究者の参加もお待ちしております。



当時の様子（出典：資・史料室）

*1カマボコハウス…1947(S22)年アメリカ軍からの払い下げ兵舎で、1967年に取り壊されるまで、学生寮・教職員寄宿舎、教室やクラブハウスとして使用されていた。

お知らせ：

定期的にニュースレターを発行していく予定です。本プロジェクトについて、ご意見や話題などありましたら、事務局までお寄せください。

問い合わせ・連絡先：

女性研究者支援事務局

102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
場所：10号館3階315室

電話：03-3238-4052

mail：wrsswg@sophia.ac.jp

http://www.erp.sophia.ac.jp/Projects/wrsupport

